

学校名	ときがわ町立萩ヶ丘小学校
所在地	比企郡ときがわ町西平1153番地
電話	0493-67-0019

1 本校の概要

本校は全校児童 48 名、通常学級 4 学級（2・3 年生と 5・6 年生は複式学級）の小規模校である。児童は、豊かな自然や伝統芸能に触れる機会が多く、地域や保護者も協力的で温かい見守りの中、日々の教育活動を行っている。また、校舎は木の香りに包まれる木造 2 階建てとなっている。中でも、「知恵の森」学校図書館はガラス張りで天井が高く、自然の光を感じながら読書に親しむことができる快適な環境となっている。



2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・ 読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組
- ・ 家庭や地域との連携

(2) 実践の概要

<読書活動の充実に向けて>

ア 業前「読書タイム」

月曜日の朝 10 分間の読書時間を設ける。

イ 家庭、地域との連携

- ・ 「親子読書」年 2 回
- ・ 地域の読み聞かせグループの方による読み聞かせ
- ・ 給食時間に放送で保護者による読み聞かせ
- ・ 町立図書館への 2 年生の生活科「図書館たんけん」、国語や調べ学習で関連図書利用等

<図書館利用の習慣化に向けて>

ア おすすめの本展示コーナー



「知恵の森」学校図書館前の廊下に、学年毎におすすめの本と共に紹介カードを展示する。

イ 貸出日の割り振り

火曜日は 1～3 年生、金曜日は 4～6 年生の貸出日とし、該当学年へ利用を呼びかける。

ウ 貸出カードの工夫

低学年は冊数で、高学年はページ数で「読書貯金カード」に取り組む。

エ 図書委員会による啓発活動

利用の多い児童の紹介や、図書館利用の少ない児童への働きかけを工夫している。返す本を忘れた児童のための「予約コーナー」や、児童のリクエストにより購入するシステム「リクエスト本コーナー」「本の福袋」などの工夫を行っている。



<読書月間の取組>

ア 全校縦割り読書

体育館に縦割り班で集まり、教職員も一緒に読書を行う。図書委員会が司会進行し、各班で自分の読んでいる本の題名を紹介後、読書する。

イ 先生、図書委員による読み聞かせ

ウ 親子読書インタビュー

親子読書後の感想を「親」「子」それぞれ数名ずつ給食の放送で図書委員の児童が紹介する。

エ 読書感想文の紹介

読書感想文コンクールに出品した作品を給食の放送で本人が発表する。



3 成果と今後の課題

(1) 成果

- ・ コロナ禍に比べ、家庭や地域を巻き込んだ読書活動が充実し、学校全体で読書に親しむことができ、児童の読書意欲の向上につながった。

(2) 課題

- ・ 読書習慣や読書量に学年や個人差があるため、個に応じた支援とさらに魅力ある読書環境の工夫に努める。

(3) まとめ

今後も、積極的に学校、家庭、地域が連携し、子供たちが自ら本に親しむ態度を育成していきたい。